

令和2年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

No.	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額(円)	交付額(円)	コメント
1	吹田市聴言障害者協会	手話等交流カフェ	手話交流カフェを月1回開催し、手話でおしゃべりしたり、情報を共有したりします。 地域の聞こえない人と聞こえる人の手話交流企画をします。情報コミュニケーションを保障し、聞こえない人の問題を理解していく事業で、ひとりぼっちの聞こえない人をなくしていきます。そして生活の問題や悩み、災害対応などを解決していくきっかけになればと思います。	自立支援	20,000	20,000	聴覚障害者と健常者が手話を通して交流することは、公益性があり、自立的に行っていることは素晴らしいと思います。 手話や筆談等で楽しく交流する場をつくるだけでなく、日常生活の情報提供や課題解決に努めています。また、防災や災害時の対応について障がい者の立場に立って地域と交流し活動の輪を広げていることに活動の発展性を感じます。 カフェを通して、聞こえない人の情報コミュニケーションを保証するとともに、聞こえる人と聞こえない人をつなぐ交流の場としての意味はますます重要となるでしょう。 より参加人数を増やして広がりを作り、今後の活動の発展と継続を願います。
2	社会の中で共に生きる会あゆみ	保健、医療又は福祉の増進	うつ病、不安障がい、発達障がいなどを抱え社会の中で「生きづらさ」を感じている当事者の会です。家から一歩、外へ歩み出て人と交流し、ほっとできる居場所です。 月に1回、参加者が集まって交流します。当事者が主体となって、お互いの近況や情報交換をしながら、お互いの悩みを共有して支えあいます。	自立支援	15,750	15,750	当事者発信の活動であるがゆえに同じような立場の方に必要とされ共感を得ている活動である点を高く評価します。 昨年度スタート支援コースで事業の立ち上げから今年度の継続実施が上手く図れたことが良かったです。 少人数で実施するからこそできる、丁寧に寄り添う支援が損なわれることなく、今後も活動が継続、発展していくことを期待しております。
3	千二おやじの会	おやじの子育て支援	千二地区のお父さんのコミュニティとして、地域のボランティア協力や親子参加型のイベント開催をしながら、交流を深めている。親子の交流、子ども同士の交流、親同士の交流を通して、地域のコミュニティを活性化させ、地元愛にあふれる街づくりに貢献する	自立支援	351,796	249,896	父親を中心とした親子参加型事業。地域、親子、親同士の交流を図る取り組みであり、地域の活性化を図り、地域の安全、防犯・防災力を高め、子ども達が健全に育っていくための環境づくりに寄与されているものと思われます。 お父さんが地域で頑張るすばらしい取り組みですので、長く活動を続けられ、地域の支えとなるような団体に育っていただくように頑張っていたきたいと思います。 地域の中で活動の継続性を担保するためにも、地域の他団体との交流や支援を視野に入れ、また、費用の内容を整理するなど、活動の自立を図ってください。 備品購入費(Tシャツ費用、サッカーゴール費用)及び使用料・賃貸料(万博フットサル場レンタル費)につきましては、受益者が用意し、負担するものと判断し、補助対象外として減額して交付します。
4	ママGoGo	ママパスポートを持ってGo!Go! つながり・まなびプロジェクト	「ママが元気になれば子どもも元気になり、マチが明るくなる」を理念に活動してきた団体です。公的施設や地域など身近な安心・安全な情報を当事者目線で届ける「ママパスポート」を発行。「乳幼児のリスクマネジメント」「保活」等の子育てに役立つ講座や、親子イベント「いっしょもちあげ大会」を開催。吹田に馴染みのない方や転勤族ママの居場所作りなど、ママ同士の日ごろからの顔の見えるつながりを創り出します。	自立支援	146,963	110,222	幼児教育というもの、それはいつの時代においても重要課題であり、社会からも常に注目される存在の課題という風に考えます。この意味でこの団体は関係者のニーズを確り把握する事に努めてこられました。 スタート時はママたちのためにさまざまなワークショップなどを開催し、現在では充実したママパスポートの発行で多くのママたちを支援し、そして「いっしょもちあげ大会」では、ママと子どもたちを楽しませるだけでなく、ママ同士や子ども同士をつなげる役割も担っていると感じます。 しかし昨年度の課題であった参加者の運営への参加について、解決できなかったなど、努力が一步足りなかった中での「発展志向の取り組み」となっています。 他の補助金へのアプローチ、他団体とのリンクなど、今後は「自立」をテーマに、さらに新たなネットワークや人材発掘、育成にも力をいれられることを望みます。今後の活動に期待しつつ、今回の申請に関しては「継続事業」と判断しました。

令和2年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

No.	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額(円)	交付額(円)	コメント
5	ママの働き 方応援隊大 阪豊中校	赤ちゃん とママが 出前授業 「赤ちゃん 先生」プロ ジェクト	0～3歳の赤ちゃんとその母親が小中学校へいく出前授業「赤ちゃん先生」プロジェクト。産後孤立しがちな母親たちは、家の外へ出ることによって社会や地域との繋がりができ、自分に自信が持てるようになります。小中高校生の皆さんは、赤ちゃんとのふれあいやお世話の話、妊娠、出産時の気持ちや体験を聞くことで、周りの人や自分を大切にすることが芽生えます。赤ちゃんの力を借りて、社会の様々な課題を解決するプロジェクトです。	自立支援	133,900	0	出産後の母親が赤ちゃんと一緒に社会参加できる機会をつくり、孤立しがちな母親と社会をつなげるという設立目的は素晴らしく、子育て中の母親が社会に関わるなかで自信をつけていくことは重要です。 しかしながら、吹田市市民公益活動促進補助金の自立支援コースは、自立できていない活動を支えるものでありますので、すでに自立されている貴団体の活動は補助金の趣旨と異なる点もあり、対象外との判断に至りました。
6	アドプト・リ バー・川園	環境の保 全に取 り組む 事業	地域の環境美化により幅広い年齢層の人達が利用する事で、人と人との繋がりが出来てきた。又、ペットボトルや犬の糞等が無くなって環境に対しての意識が向上して来た様に感じる。	自立支援	274,000	0	長年雑草や大型ごみなどで荒れ果てていた安威川河川敷の環境整備と美化を、自治会の協力を得ながら継続されてきた行動力に敬意を表します。現在では、地域の方々の尽力のおかげで美しく整備が進み、近隣の住人の方々も美化に協力的であるとの話を伺い、長年の成果が出ているとの実感もあり、頼もしく感じました。 活動そのものの趣旨やご尽力には敬意を表しますが、今回の申請内容は、大阪府が所有する区域において、大阪府と締結したアドプト制度に従って住民が管理を行う活動ということもあり、吹田市市民公益活動補助金制度の趣旨と異なり、対象外との判断に至りました。 今後、貴団体の活動におかれまして、河川管理者と関係強化いただくとともに、多方面への働きかけや市の他の補助金などへの検討も視野に入れ、活動が継続できるよう期待いたします。